

令和5年12月1日

第102回安来市議会定例会 12月定例会議

市長所信表明

安来市

第102回安来市議会定例会12月定例会議の開議に当たり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

はじめに、11月10日にご逝去されました細田博之前衆議院議長に対しまして、謹んでお悔やみを申し上げます。

細田先生におかれましては、平成2年の初当選以来、衆議院議員を11期、33年務められ、衆議院議長や内閣官房長官をはじめ、国政の要職を歴任されるなど、ふるさと島根と日本の発展のため、長年にわたり多大なご尽力をされました。

生前のご功績に深く敬意を表しますとともに、衷心よりご冥福をお祈り申し上げる次第でございます。

次に、国への要望活動についてであります。

11月13日には島根県過疎地域対策協議会の副会長として、11月15日には中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議と中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議の副会長として、11月16日には全国治水砂防協会島根県の支部長として、東京に出向き、それぞれ要望活動を行ってまいりました。

今後もあらゆる機会をとらえて、本市に必要な施策等の支援を積極的に求めてまいります。

次に、小中学校適正配置基本計画についてであります。

小中学校の適正配置に向けた具体的な計画について、「安来市小中学校適正配置審議会」にて慎重な審議を重ねていただき、令和5年8月に、基本方針に基づく適正配置のあり方等、検討結果が答申として取りまとめられました。

この度、安来市教育委員会にて、この答申を尊重しながら総合的に検討し、パブリックコメント、地域説明会などにより、保護者、地域の皆様方からご意見を伺いながら、この度、安来市立小中学校適正配置基本計画を策定しました。

今後、この基本計画に基づき、学校の再編に取り組み、安来市の総合的な教育環境の整備を進めてまいりたいと考えております。

次に、安来節演芸館の指定管理者の公募についてであります。

再募集しておりました安来節演芸館の指定管理者に、複数事業者から応募があり、去る11月21日に開催されました「安来市公の施設指定管理者選定審議会」の審議結果を踏まえ、指定管理者の候補者を選定したところです。

本定例会議に、指定管理者の指定に係る議案を提出いたしますので、議員の皆様にご審議いただき、安来節演芸館の令和6年度の再開に向けて、進めてまいりたいと考えております。

次に、この秋のイベントについてであります。

近年、生涯スポーツの側面もあるなど、新たな可能性を秘めたスポーツとして注目される「eスポーツ」について、市の主催イベントと

しては初めてとなる「e スポーツ運動会」を、11月19日にアルテピアで開催しました。

e スポーツへの理解促進と関係人口の拡大を目的として開催したもので、コンピューターゲームを通じて、競技として熱い戦いが繰り広げられたほか、子どもから大人まで約600人の多くの来場者に、e スポーツを楽しんでいただくことができました。

また、e スポーツイベントの開催に合わせ、来年1月から運用を開始します、マルチタスク車両「ぐるっとY a s u g i号」のお披露目を行いました。

マルチタスク車両は、市役所に行くことが困難な方など、市民の皆様の利便性向上を目的に導入するもので、交流センターや集会所等に派遣し、住民票や税証明等の証明書発行業務や行政相談などの出張行政サービスを提供してまいります。

皆様に積極的に活用していただき、行政を身近に感じてもらいたいと考えております。

また、11月25日、26日には、「やすぎ環境フェア」を開催しました。多数の市民の皆様にお越しいただくフェアとしては、4年ぶりの開催となりましたが、ご来場いただいた多くの皆様に、パネルディスカッション、体験コーナーなど、多くの企画を通じて、一人一人に環境について今一度考えていただける、よい機会になったものと感じております。

次に、生成A I 導入事業についてであります。

D Xによる取組の一環として、職員が日常的に文章作成等で使用しているパソコンで利用できる、C h a t（チャット）G P T等の文章生成A Iシステムを導入し、職員の業務効率化に向けた、生成A Iの業務利用を開始します。

利用に当たっては、効果的に業務利用するため職員研修や、利用方法など必要な運用ルールを定めて行うものとし、文章の作成や要約、企画立案の支援など、様々な活用が期待できる中で、業務の質の向上にも繋がるものと期待しているところです。

次に、保育施設 I C T推進事業についてであります。

公立の幼児教育・保育施設等で使用する保育業務全般を支援する新たなシステムの導入について、令和6年4月1日からの運用開始に向けて準備を進めております。

このシステムにより、保護者からの欠席報告、保育施設からのお便りや連絡、アンケートの実施などが可能となり、保護者の利便性の向上とともに、保育現場での業務効率化を進め、人材不足が課題となっております保育士の負担軽減を図りたいと考えております。

次に、スマートインターチェンジ調査事業についてであります。

（仮称）安来スマートインターチェンジは、切川バイパス周辺の新たな市街地としてのまちづくりや周遊観光の推進、企業誘致、周辺施

設などからの高速道路アクセス向上など、地域振興や産業振興、物流の効率化に大いに期待するものであります。

令和5年9月に、国から必要性が確認できる新規準備段階調査箇所を選定されましたので、今後の事業化に向けて準備・検討を進めてまいります。

次に、和鋼博物館改修事業についてであります。

和鋼博物館展示室の空調設備が一部故障しており、この夏には室温が36℃に達するなど、快適な利用環境を提供できない状況にあり、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしたところです。

空調設備について、令和6年度の早い時期に改修が行えるよう、実施設計等の準備を今年度から進めてまいります。

次に、やすぎ家計応援商品券についてであります。

物価高騰の影響を受けている市民と市内事業者の皆様を支援するため、1人当たり3,000円分の「やすぎ家計応援商品券（第3弾）」を、11月に配布しております。

市内の飲食店、小売店をはじめ、ガソリン・灯油などの燃料、理美容・健康など、市内の多くの店舗で使用が可能となっておりますので、地域経済の活性化のためにも、使用期限の令和6年2月15日までに、是非ご利用いただきたいと考えております。

なお、11月29日に国会で可決・成立した今年度補正予算に含ま

れる、非課税世帯等を対象とした7万円の給付金など、物価高対策のための「重点支援地方交付金」に関する予算については、年内の予算化が可能なものを計上することとしており、本定例会議の最終日に提出を予定しております。

最後に、今回、執行部が提案します案件は、議決案件28件であります。諸議案の詳細につきましては、後ほどご説明させていただきますので、ご審議のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。